

令和 4 年度 事業報告書 (案)

だれもが夢を持ち、みんなで支え合う福祉のまち

社会福祉法人 八尾市社会福祉協議会

令和4年度 事業報告（総括）

I 事業状況

本会では令和3年9月に「だれもが夢を持ち、みんなで支えあう福祉のまち」を基本理念とする第4次八尾市社会福祉協議会地域福祉活動計画を策定しました。令和2年から続くコロナ禍で地域活動等がなかなか再開できない状況にありましたが、計画の初年度として、令和4年度の各事業を基本目標に基づき以下のとおり実施いたしました。

「基本目標1 身近な地域でつながり、支え合う仕組みづくりの推進」については生活支援コーディネーター配置事業において、コロナ禍での新たな生活様式に適合した支え合いの仕組みづくりを地域とともに協議を重ねてきました。

また地区福祉委員会だよりなど情報発信の支援を行うとともに、単に活動を再開するだけでなく、「今、必要な活動は何か」を検討するように働きかけてきました。

そして令和3年度に引き続き、大阪府の地域福祉振興助成金を活用し、コロナ禍で活動できなかった子育てサロンを本会が試験的に実施し、地域とともに新たな活動の方向性を検討しました。

「基本目標2 多様な主体の参加支援と連携の推進」については地域活動の再開に向けて地域の集会所など小さな単位でも開催できるICT機器の導入と研修会や講座等の案内・地域情報の提供などのコンテンツ制作に取り組んできました。

ボランティアセンターでは、コロナ禍でフレイルのリスクが高まっていることからボランティア連絡会が主催となって体操や踊りなど体を動かすフレイル予防教室を実施しました。

献血推進協議会では、人の集まりが減って不足する血液を確保するために、献血の必要性を訴え商業施設（リノアス）内の献血スペースをはじめ可能な場所でご協力いただきました。

「基本目標3 身近な地域における支援のためのネットワークづくりの推進」については、まず、「新型コロナ特例貸付」を令和2年3月から特設窓口を設けて対応していましたが、令和4年9月末で終了し、その後は債権管理事務として引き続き対応し、支援を必要とする相談者に寄り添い、きめ細かな支援プランの作成など個別の支援を行っています。

次に成年後見制度における市民後見人の養成を行うとともに、国の「成年後見制度利用促進基本計画」に基づいて、本市における「地域連携ネットワーク」の中核的機関を運用し、弁護士会や司法書士会、社会福祉士会の協力を得ながら、市民向け相談会等に取り組みました。また、持続可能な権利擁護支援のモデル事業に着手し、新たに多様な主体の参画を目指します。

老人福祉センターでは、高齢者の生きがい創りの一環として多様な同好会活動を展開しており、ひまわりカフェについても感染予防を徹底しながら実施することができました。

おひさまこども園では、地域子育てつながりセンターにおいて、コロナ感染対策を行いながら、地域の子育て家庭に対する支援の取り組みを推進してまいりました。

最後に本会の基盤強化に向けて、住民主体・住民参加による地域福祉の推進に取り組むにあたり、会員制度や共同募金運動の拡充に取り組み、財政基盤の強化・健全化に努めました。法人組織内の取り組みとして、職員の適切な勤怠状況の把握に向けたシステム化の検討を行うとともに、職員の健康保持に関する事項を協議する衛生委員会を立ち上げました。

基本目標 1 身近な地域でつながり、支え合う仕組みづくりの推進

市民一人ひとりが、人権や福祉、自分の住む地域について知り、自分ごととして理解を深めるとともに、主体的に地域福祉に関わることができるよう、意識、関心の醸成を図ります。

また、地域力の基盤となる地区福祉委員会をはじめとする地域団体等の活動・運営を支援するとともに、地域の「気づく」力、支援に「つなげる」力の向上や、地域住民と専門職・専門機関等の連携を支援することで、地域が一丸となって身近な地域でつながり、支え合う仕組みづくりを進めます。

基本施策 1-1 人権と福祉のまちづくりへの意識や関心の啓発・醸成

市民一人ひとりが安心して暮らしていくためには、自分の住む地域でお互いに人権を尊重し、違いを認め支え合う共生の意識をつくり上げていくことが重要です。

そのため、まずは市民が気づき、学ぶ機会や情報の提供に取り組みます。

【実施事業】

● 地域住民対象の福祉出前講座や研修会の開催

1. 社協PR活動

本会の事業を広く市民に周知するために、地域で開催される行事や出前講座等に参加し、社協活動のPRに努めております。令和4年度はコロナ対策のため、関係者のみに実施しました。

○出前講座

市の生涯学習活動の一環として、社協として実施できる4つの出前講座を提供しております。

①社会福祉協議会ってなあに？②老人福祉センター同好会活動ってなあに？

③権利擁護事業ってなあに？④障がい者理解と介助の基本を身につけよう

開催日	場 所	テーマ・内容
令和4年 6月10日	大阪信用金庫主催 あかねクリニック	「社会福祉協議会について 及び善意銀行について」
8月17日	高齢者あんしんセンター緑風園	「成年後見制度のお話」
9月29日	高齢者あんしんセンター長生園	「成年後見制度について」

10月17日 11月21日 12月19日	高齢者あんしんセンター りゅうげ	連続講座（3回） 「成年後見制度・日常生活自立支援事業について」
10月24日	大阪シティ信用金庫	「成年後見制度について」

● 地区福祉委員会だよりの発行支援

2. 地区福祉委員会だよりの発行状況

	R2年度	R3年度	R4年度
「地区福祉委員会だより」の発行地区数（全32地区）	21地区	22地区	23地区

3. 地区福祉委員会へのアプローチ状況

全地区福祉委員会に機関紙等の発行状況調査を毎年実施し、発行状況や作成方法、経費等の把握を行っている。併せてインターネットを通じた広報活動について調査した。現在、発行にあたっての課題等について協議し、支援の手法等について検討している。

4. 地区福祉委員会を対象とした広報研修会の開催

日時：令和4年8月26日（金）プリズムホールにて 参加22名

講師：株式会社 ユナイテッド・トゥモロー 代表取締役 尾関栄二 氏

内容：効果的なキャッチコピーの作り方や、広報紙作成における実践的なハウツウの紹介。また、実際に作成されている地域の機関紙についてのアドバイスなど

● 広報誌「やお社協だより」、ホームページによる情報提供

5. 社協だより編集委員会

「やお社協だより」機関紙を年4回、ポスターを年3回発行しています。事業計画や予算並びに事業報告・決算報告、本会の事業をはじめ地区福祉委員会の取り組みなどを広く市民に周知しています。

開催日	場 所	内 容
令和4年 5月23日	八尾市立 社会福祉会館	・やお社協だより6月20日号について
8月24日	八尾市立 社会福祉会館	・委員の委嘱 ・やお社協だより9月20日号について
11月16日	八尾市立 社会福祉会館	・やお社協だより12月20日号について
令和5年 2月14日	八尾市立 社会福祉会館	・やお社協だより3月20日号について

- 「ボランティアだより」「ファミサポ通信」「こども福祉新聞」
「老人福祉センターだより」「おひさまこども園だより」の発行

6. ボランティアだより等各種通信の発行状況

通信等タイトル	発行状況等
ボランティアだより	年4回発行（3月 6月 9月 12月）
ファミサポ通信	年3回発行（5月 9月 1月）
こども福祉新聞	年1回
老人福祉センターだより	年10回（8月、1月除く）
おひさまこども園だより	毎月発行（年12回）

- さまざまな人権研修の開催（役職員や地域住民対象）

7. 人権研修

理事・評議員、地区福祉委員会、職員などを対象とした各種研修会を開催しております。

	開催日	場 所	内 容
人権研修会	令和5年 1月19日(木)	社会福祉会館	講 演 「SNSと人権～インターネットの光と影～」 講 師 黒田 恵裕 氏 参加者 23名

- 地区福祉委員会における研修会の支援

8. 視察研修会

地区福祉委員長連協主催の視察研修会はコロナの影響を考慮し中止となりました。

その他、地区福祉委員会主催の研修会等において講師の選定や視察先の紹介、関係機関との調整などを実施しています。

- 障がい者支援啓発事業の開催支援（佐野満男基金事業）

9. 善意銀行（佐野満男基金）を活用した事業

事業名	実施地区
障がい者支援啓発事業助成金 障害者福祉に関する講習会・啓発事業 助成金 上限10万	<ul style="list-style-type: none"> ・上之島地区福祉委員会 ・久宝寺地区福祉委員会
障がい者ふれあい事業助成金 障がい当事者の参加や交流活動への支援 ふれあい喫茶型や技術指導など（2コース） 助成金 上限5万円	<ul style="list-style-type: none"> ・上之島地区福祉委員会 ・久宝寺地区福祉委員会
災害時における障がい者理解・支援講習会助成金 災害時の障がい者理解・支援等をテーマとする活動 助成金 上限5万円	<ul style="list-style-type: none"> ・上之島地区福祉委員会 ・高美地区福祉委員会 ・美園地区福祉委員会

【主な取り組みの活動指標】

活動指標	R 2 年度 (実績)	R 3 年度 (実績)	R 4 年度 (目標)	R 4 年度 (実績)
福祉出前講座や研修会の開催回数 (回)	1	1	8	7
「地区福祉委員会だより」の発行 地区数 (地区)	2 1	2 2	2 3	2 3

基本施策 1-2 地域力向上に向けた支援

市内には地域力の基盤として、32の地区福祉委員会があります。本会では地区福祉委員会の運営や活動を支援し、その他地域活動に関わる団体や専門機関と連携することで地域共生社会の実現に向けた地域力の向上をめざします。

【実施事業】

● コミュニティワーカー (CoW) による地域福祉 (活動支援) の充実

1. コミュニティワーカーによる地域との面談、訪問活動状況

各圏域にコミュニティワーカーを配置し、それぞれの担当地域と面談等にて地域活動の活性化に向けた調整をしています。

地域 (圏域)	面談・訪問	イベント・会議	活動コーディネーター	その他	計
第1圏域 八尾・桂・上之島中校区	110	2	70	321	503
第2圏域 龍華・亀井・久宝寺中校区	182	113	11	429	735
第3圏域 志紀・大正・曙川南中校区	127	75	0	263	465
第4圏域 成法・曙川・高美中校区	86	40	0	209	335
第5圏域 高安・南高安・東中校区	82	59	2	237	380
計	587	289	83	1,459	2,418

*地区福祉委員長連絡協議会の開催状況については、基本施策3-5に記載あり

● 生活支援コーディネーター (SC) の配置・体制整備事業

(地域の「やってみたい」を応援する場 (プラットフォーム) の形成)

2. 生活支援コーディネーター活動

高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進していくことを目的とし、地域において、ささえ合いの仕組みづくりを推進しています。

①地域資源の把握

(1) やお地域資源MAPの更新 (各中学校区単位で作成)	インターネット用 (随時更新) 紙面用 (年1回更新)
(2) 地域活動等への参画	地域資源の状況を把握するため、地域活動等に参画した。 計37回

②地域資源の開発

(1) 開発へとつながる支援	相談対応：46回
(2) SC研修会・担当者会議への参加	計12回

③関係者によるネットワークの構築

(1) 高齢介護課との打ち合わせ	計19回
(2) 八尾市生活支援介護予防協議会の開催支援	第1層協議体：2回
(3) 関係機関の会議出席	地域包括支援センター関係：10回 地域ケアケース会議：8回 その他関係機関会議：5回 計23回
(4) SCの取り組み等説明	計6回

④生活支援や介護予防の担い手の養成

(1) 担い手の養成講座実施	シニア向け地域福祉オリエンテーション 計2回
(2) シルバーリーダー養成講座事業との連携、開催支援	講座講師 計4回

注：SC：生活支援コーディネーター

● 福祉作業所と連携したサロンの開催支援（佐野満男基金活用）

3. 福祉作業所と連携したサロンの開催支援

事業名称	内 容
障がい者ふれあい事業（再掲）	上之島地区福祉委員会：作業所と連携したサロンの開催 久宝寺地区福祉委員会：作業所と連携したサロンの開催

● 高齢者ふれあいサロン運営支援事業の実施

4. 高齢者ふれあいサロン運営支援

(1) 登録数 6か所（令和5年3月末現在）

(2) 生活支援コーディネーターによる状況把握のための聞き取り 各1回

【主な取り組みの活動指標】

活動指標	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)	R4年度 (目標)	R4年度 (実績)
コミュニティワーカーによる地域との面談、訪問回数（回）	386	535	430	587

基本施策 1-3 地域における見守り・支え合い

市内では自治振興委員会や民生委員・児童委員、地区女性会、PTA、子ども会育成会、高齢クラブなどによる子どもや高齢者、障がい者、生活困窮者などへの見守りや支え合い活動があります。平成10年度からは地区福祉委員会による小地域ネットワーク活動がはじまり、高齢者などの孤立を防ぎ安心して生活できるようにさまざまな事業を実施しています。

一方で人々の暮らしの変化を受け、生活するうえでの課題も多様化しており、これまでの地区福祉委員会による見守り活動に加えて、市民一人ひとりが小さな異変に「気づく」地域の力を向上させ、支援の専門職と連携して「つなげる」先の仕組みづくりに取り組みます。

【実施事業】

● コミュニティワーカー（CoW）による地域福祉（活動支援）の充実（再掲）

*CoWによる地域との面談、訪問状況については、基本施策 1-2 に記載あり

● 小地域ネットワーク活動の強化（「気づく力」と「つなげる力」の向上）

1. 小地域ネットワーク活動研修会

	開催日	場 所	テーマ
小地域ネットワーク活動リーダー研修会	令和 5 年 3 月 2 日（木）、 3 日（金）	社会福祉会館 （オンライン研修）	基調講演・実践報告 「多機関協働の小地域活動 ～誰の手を借りる？専門職を交えて地域福祉の進化を図る～」

● 民生委員・児童委員の活動支援（「気づく力」と「つなげる力」の向上）

2. コロナ禍における見守り支援事業

大阪府の地域福祉振興助成金を活用し、令和 4 年度は、つながっちゃお YAO（高齢者への外出促進・孤立感解消及び子育て中の親同士の繋がりづくり事業）に取り組みました。

実施時期	事業名	内 容
10 月～ 3 月 (11 回)	① 高齢者への外出促進・孤立感解消事業	内容：地域の集会所などに少人数で集まり、体操などの動画を高齢者だけでも簡単に視聴することで、高齢者の閉じこもりを防ぎ、孤立感の解消を図ることを目的として実施した。 対象：一人暮らし高齢者など 参加者：143 人 効果：簡単に集まれる機会を提供したことで、参加者である高齢者の外出意欲が高まり、活動を休止していたボランティアのボランティア継続の意欲が向上した。また、提供する動画や

		情報をコンテンツとして作成することで、小規模の集会所などでも活動できることから、少ない担い手でも地域のきめ細かい活動が期待できる。
6月・9月・2月 (3回)	②子育て中の親同士の繋がりづくり事業	内容：生後4～8か月ごろの子を持つ親を対象とする簡易なサロンを開催し、孤立感の解消と親同士の繋がりづくりを目的として実施した。 対象：生後4～8か月ごろの子を持つ親 参加者：54人 協力：主任児童委員、地区福祉委員会 効果：参加者同士の交流が生まれ、子育て中の親の孤立解消とともに、地域の担い手がサロンの運営方法を体験したことで、今後の地域住民主体の子育てサロン活動再開につながった。

* 民生委員児童委員協議会の活動状況については、基本施策2-3に記載あり

● 当事者組織への支援（ひとり暮らし老人の会、介護者（家族）の会）

3. ひとり暮らし老人の会連絡会（いちょうの会）研修

研修名	開催日	内 容
会長研修会	令和4年 7月19日（火）	・ 特殊詐欺の話（八尾警察） ・ 感染予防のための手洗いチェック研修
会長研修会	11月1日（火）	・ span！（水本さんは八尾の魅力大使）によるレクリエーション介護士として指体操などの指導 ・ フレイル予防研修
会長研修会	令和5年 3月24日（金）	・ 交通安全講習

4. 介護者（家族）の会研修

行事名	開催日	場 所	内 容
定例役員会 定例交流会	毎月開催 (8月除く)	社会福祉会館	定例役員会の開催（介護相談の報告、行事の企画等） 定例交流会の開催
大阪府 連絡会	通 年	社会福祉会館 (オンライン参加)	・ 大阪府介護者（家族）の会連絡会 役員会、総会、河南ブロック打ち合わせ会等
秋のつどい (交流会)	令和4年 10月24日（月）	旧植田家住宅	施設見学、交流会（参加者21名）
介護者の つどい	令和5年 3月13日（月）	社会福祉会館	研修、交流会（参加者17名） 「介護を楽にする工夫：チョットだけ偏食のススメ」 講師：加藤 晴之氏 日本臨床栄養協会認定サプリメントアドバイザー

● 共同募金運動・歳末たすけあい募金活動

5. 共同募金運動

令和4年度共同募金は、募金を取り巻く状況が年々厳しくなる中、各関係機関・団体のご協力をいただき以下の募金が集まりました。

(1) 実績額

募金種別	実績額
戸別募金	6,158,073円
法人募金	983,050円
学校募金	221,715円
職域募金	504,396円
街頭募金（バッチ募金を含む）	423,905円
フェキ君コラボグッズ	245,042円
その他（府共同募金会への直送分を含む）	102,816円
計	8,638,997円
目標額	10,653,000円
達成率	81.1%

(2) 八尾地区募金会と市内企業との協働

八尾地区募金会では、赤い羽根共同募金運動の幅広い世代への周知と、募金額増額に繋げるため、市内の企業である不易糊工業株式会社と協働し「八尾といっしょ。プロジェクト」に取り組みました。不易糊工業株式会社のイメージキャラクターであるフェキ君と赤い羽根共同募金のコラボグッズ（エコバッグ）を製作し、500円以上の寄付者へ贈呈いたしました。

6. 歳末たすけあい運動

令和4年度歳末たすけあい運動については、下記のとおり配分を行い地域福祉の推進に寄与いたしました。

(1) 実績額

内容	実績額
本年度募金額	6,101,970円
繰越金	3,443,598円
返金	35,000円
利息	10円
合計	9,580,578円

(2) 事業費

配分事業名称	対象者数及び配分単価	配分実績額
介護者健康診断費用補助事業	1人 15,000円以内×107名	1,512,889円
障がい者通所施設等備品購入等補助事業	1施設 50,000円以内×28施設	1,056,043円
福祉教育促進支援事業	1校 120,000円以内×15校	1,758,934円
勤労障がい者交流補助事業	年22回 410名	300,000円
ワンペアレントファミリー交流補助事業	年1回 7世帯	50,000円
「八尾市こども福祉新聞」の作成費用	市内小中学生に配布	250,000円
緊急食糧等提供事業	緊急的かつ一時的に生計の維持が困難となった市民 (原則、現物支給)	40,000円
年末 ほこりバスターズ!事業	1地区	1,746円
学校支援ボランティア活動事業	3団体	89,974円
こどもの居場所づくり事業	2団体	150,000円
配分事業合計		5,209,586円
事務費(郵送料・印刷代等)		149,257円
事業費合計		5,358,843円
次年度繰越金		4,221,735円

7. 善意銀行事業

市民の皆様からの善意(寄付)を受け付ける窓口です。頂きました善意(寄付)は地域福祉の推進に活用いたします。

(1) 善意銀行 収支(佐野満男基金含む)

前年度善意銀行積立金 繰越総額(A) (内訳)一般分 佐野満男基金分	45,061,341円 (25,854,920円) (19,206,421円)
本年度 預託金(15件) 一般分のみ(B) * (2)に内訳あり	794,776円
合計(A) + (B) = (C)	45,856,117円
本年度 支出金(D) (内訳)一般分 * (3)に内訳あり 佐野満男基金分 * (4)に内訳あり	1,131,200円 794,776円 336,424円
次年度繰越金(C) - (D) (内訳)一般分 佐野満男基金分	44,724,917円 (25,854,920円) (18,869,997円)

(2) 金銭の部 一般 預託金 収入 (B)内訳

寄付者(順不同、敬称略)	合計金額
松村 一範、(株)八光殿 手づくり「やさしい手」、末政 洋子 八尾市佛教会、遊輪館、匿名7件	794,776円

(3) 金銭の部 一般 支出 (D) の内訳

本年度指定払出 (1件)			500,000 円
寄付者	指定払出先	払出金額	
手づくり「やさしい手」	車いす購入費として 社協へ	500,000 円	
市民後見人養成講座フォローアップ事業 (5,000 円×9人)			45,000 円
救急医療情報キット			164,150 円
小地域ネットワーク活動地区助成金			85,626 円
支出金 一般分 小計			794,776 円

(4) 佐野満男基金による助成事業 支出 (D) 内訳

佐野満男基金として、R4 年度当初の 19,206,421 円から、以下の事業を実施した。

障がい者支援啓発事業助成金	159,524 円
・上之島地区福祉委員会、 ・久宝寺地区福祉委員会	
障がい者ふれあい事業助成金	33,000 円
・上之島地区福祉委員会 ・久宝寺地区福祉委員会	
災害時における障がい者理解・支援講習会助成金	143,900 円
・上之島地区福祉委員会 ・高美地区福祉委員会	
・美園地区福祉委員会	
計	336,424 円

(5) 物品の部 一般

(一般払出内訳)

順不同・敬称略

寄付者	払出先	物 品
大阪信用金庫 東大阪支店、八尾支店 八尾・桜ヶ丘支店 株式会社 日東 多田 正明、稲山 仁保、他匿名あり	八尾市民など	食品、杖(500本)、車いす、 車いすレインコート、家電 雑巾など

(指定払出内訳)

順不同・敬称略

寄付者	指定払出先	物 品
大阪中河内農業協同組合 南高安支部 成年部	ルフレ八尾	枝豆、じゃがいも、若ごぼう
大阪中河内農業協同組合 曙川支部 成年部	ライフサポートおいばら	枝豆
大阪中河内農業協同組合 曙川支部 成年部	ケアハウス やまなみ	若ごぼう
大阪中河内農業協同組合 北高安支部 成年部	寿光園、ポポロの会 信貴の里	菊花
大阪中河内農業協同組合 志紀支部 成年部	八尾しょうとく園 あさひ福祉会	もち米
大阪シティ信用金庫 八尾営業部 信友会	八尾市社会福祉協議会	身長計、体重計、血圧計、握力計
日榮新化 株式会社	四季の森 愛光園	お米券 各 200 枚

【主な取り組みの活動指標】

活動指標	R 2 年度 (実績)	R 3 年度 (実績)	R 4 年度 (目標)	R 4 年度 (実績)
個別援助 支援者数 (延べ人)	54,857	57,139	60,000	63,226
グループ援助 参加者数 (延べ人)	5,783	10,209	53,000	15,508

基本目標 2 多様な主体の参加支援と連携の推進

市民一人ひとりが、自分の暮らし方や地域等への意識・関心に応じて、地域に関わり、地域でつながりが持てるよう、さまざまな機会・場づくりを進めるとともに、地域において「支え手」「受け手」という関係を超え、誰もが活躍できる環境・仕組みづくりに取り組みます。

また、地域福祉に関する既存のネットワークの強化を図る一方で、福祉分野を超えて、地域で活動するさまざまな主体とのつながりを促進し、多様な主体による福祉のまちづくりをめざします。

基本施策 2-1 幅広い市民の参加促進

社会的孤立を防ぐために始まった小地域ネットワーク活動は、今では地域で暮らすすべての人や団体を対象とした地域共生社会の実現に向けた活動につながっています。

そのため、困りごとを抱えた人への支援だけではなく、市民一人ひとりが、地域での交流・つながりを持ち、地域に関わる「きっかけ」となる多様な機会・場の創出とさらなる充実に取り組みます。

【実施事業】

● コミュニティワーカー（CoW）による地域福祉（活動支援）の充実（再掲）

*CoWによる地域との面談、訪問状況については、基本施策 1-2 に記載あり

● 小地域ネットワーク活動の強化（「気づく力」と「つなげる力」の向上）（再掲）

*小地域ネットワーク活動研修会については基本施策 1-3 に記載あり

● 身近な地域でのふれあい喫茶型サロンの設置及び開催支援

1. 地域でのふれあい喫茶型サロンの設置及び開催状況（まちづくり協議会開催含む）

25小学校区34か所でふれあい喫茶型サロンを開催しています。新型コロナの関係で活動を休止していた地域においても、感染対策をしたうえで食事会を開催したり、お弁当を配付し高齢者の安否確認を兼ねた出会いの機会を設けたりするなど工夫しながら取り組みを行っています。

● 生活支援コーディネーター（SC）の配置・体制整備事業（再）
 （地域の「やってみたい」を応援する場（プラットフォーム）の形成）

*生活支援コーディネーター（SC）活動については、基本施策1-2に記載あり

● 小中学校での福祉出前講座、献血ゼミナールの開催（再掲）

2. 学校での福祉出前講座や献血ゼミナールの開催状況

コロナ禍において、小中学校での講座やゼミナールは実施できませんでした。

しかしながら、子どもたちへの取り組みとしては、歳末たすけあい募金の配分事業として「こども福祉新聞」の作成や献血推進協議会による中学生へのオリジナル冊子及びクリアファイルの配布、社会を明るくする運動での作文コンテストや学校等でのあいさつ活動を実施しています。

【主な取り組みの活動指標】

活動指標	R 2年度 (実績)	R 3年度 (実績)	R 4年度 (目標)	R 4年度 (実績)
個別援助 支援者数(延べ人)【再掲】	54,857	57,139	60,000	63,226
グループ援助 参加者数(延べ人)【再掲】	5,783	10,290	53,000	15,508
地域資源マップ登録件数(件)	325	319	325	321

基本施策 2-2 地域福祉活動の担い手づくり

地域に関わるさまざまな担い手の不足が深刻な問題となっており、特に、地域福祉活動の中心になっている地区福祉委員会でも、長年活動に関わっている少数の人に負担が集中しているという課題もあります。

そのため、地域福祉活動者への支援とともに、「支え手」「受け手」という関係を越えて、誰もが活躍できる環境・仕組みづくりに取り組みます。

【実施事業】

● 地区福祉委員会研修、ボランティア研修会などの開催

1. 講座開催状況（ボランティアセンター）

令和4年度は、新型コロナの影響もありボランティアお試し講座、ふれあいフェスタ、災害ボランティア講座は実施できませんでした。

NO	講座名(開催期間)	日数	施設実習	申込数	参加者	延人数
1	ボランティア体験プログラム (8月1日～11月30日) 事前説明会 6回	受入れ 日数 31	協力施設 20 機関	21	16	37
2	傾聴ボランティア講座 (11月18日～11月30日)	3	—	18	16	54
3	精神保健福祉ボランティア講座 (1月13日～2月17日)	7	施設	8	7	47
	合計	41		47	39	138

*地区福祉委員会主催の研修会の開催状況については、基本施策1-1に記載あり

● 給食ボランティア研修の実施

2. 給食ボランティア連絡会研修

衛生管理説明会については、令和4年3月に前倒し実施しており、4年度の開催はありませんでした。

● ボランティアセンター機能の充実（福祉ボランティア登録者数）

3. ボランティアセンター

ボランティア活動の企画・調整拠点として、ボランティアの登録、紹介（コーディネート）、相談、講座の開催、ボランティア保険の取扱いなどを行っています。

①ボランティア登録者数(令和5年3月31日現在)

グループ	人数
A：八尾市ボランティア連絡会	354
B：給食ボランティアグループ	349
C：その他のグループ	38
D：やお福祉プラットホーム登録グループ	796
個人登録ボランティア	86
合 計	1,623

*内訳

【八尾市ボランティア連絡会】A

グループ名	人数	グループ名	人数
音訳グループ コスモス	26	シルバーアドバイザー八尾・柏原	15
八尾点訳奉仕 野菊の会	14	運転ボランティアグループ	35
ひまわりの会	28	子どもと遊びのねっとわーく八尾	30
つくしの会	16	八尾市ボランティア教育振興会	28
八尾市手話サークル「どんぐり」	18	八尾傾聴 えくぼ	41
いきいき歌体操グループ	29	花水木の会	23
親と子のいんた～ねっと YAO	18	要約筆記グループ さざんか	16
八尾手話サークル「みどり」	17	合 計	354

【給食ボランティアグループ】B

地区	グループ名	人数	地区	グループ名	人数
長池	たんぽぽの会	33	上之島	もみの木会	0
大正北	味和会	38	高美南	ヒューマン安中	14
南山本	さくらの会	42	南高安	母の木会	25
用和	コスモスの会	16	竹湊	竹の会	8
久宝寺	かきつばたの会	32	東山本	ハマナス会	17
高安	ふれあい山の手	15	西郡	ひまわりの会	9
志紀	ボランティアグループ志紀	15	曙川	ボランティア 曙川	20
高砂	すずらん会	4	曙川東	ボランティア あけひが	39
西山本	福寿草の会	22			
合 計					349

【その他のグループ】C

グループ名	人数
いちょうの会	27
介護者(家族)の会	11
合 計	38

【やお福祉プラットホーム】D

グループ名	人数
グループ まほろば	18
手話サークル フレンド	52
人形劇団 ミックスジュース	6
NPO 法人 コミュニティワーク	30
オカリナ・アンサンブル・カトレア	21
八尾マジック同好会	9
ハーモニカ 風音	13
河内銀友会	10
GOGO 会	7
犬の家 アッシュ・ヴィー	24
大正琴 やお	6
八尾・まつり家会	37
阿波おどり連 すばる	12
河内雅会	27
創作舞踊 翔の会	12
ひとみ会	14
和太鼓クラブ 臥龍	12
河内昭和音劇団	7
バルーン やお	18
八尾市 ほほえみ	27
はなももクラブ	8
八尾絵本の読み聞かせ「絵本ライブ」	27
健康子育て支援団体 すまいる	13
R i p p l e	2
八尾市ディスコン協会	56
人形劇サークル ダックス	4

グループ名	人数
フラ・ヴィーナス	9
大正琴 友輝会	4
いちご会	11
ウクレレハウス	17
M u s i k a (ムシカ)	3
ポケットハウス	6
JA 大阪中河内八尾地区ふれあい会	6
華の会	6
ハーモニカクラブ「ひびき」	6
JA 大阪中河内女性会「おはなしぽん」	9
ぽこの会	6
桐の会	19
アロハ・フラ・スタジオ	23
絵本のじかん	6
いやしの会	25
おりがみの会	9
ゆうゆうの会	18
美花サークル	12
健寿会	12
「よさこい河内連」緑ヶ丘サークル	7
八尾市ウェルネスダーツ協会	8
えだまめっこ with さくらんぼキッズ	3
愉快的仲間	13
おおさか八尾・おもちゃ病院	10
明るい社会づくり運動 Y・K ホットフォーラム	68
手づくり やさしい手	8

②ボランティアコーディネーター件数

施設等	高齢者	障がい児者	児 童	地域活動	その他	合 計
コーディネーター 件数	152	18	8	8	27	213

● 福祉有償運送事業（移送サービス）

4. 福祉有償運送事業（移送サービス）

令和4年度 延べ利用者数（人）	令和4年度 延べボランティア数（人）
575	456

● ファミリー・サポート・センター事業

5. ファミリー・サポート・センター事業

(1) 活動内容別集計・コーディネート件数・会員登録状況

活動内容	件数	構成比
保育施設への送り	391	16.0%
保育施設の登園前の預かり及び送り	0	0.0%
保育施設の迎え及び帰宅後の預かり	74	3.0%
保育施設の迎え及び自宅送り	370	15.1%
小学校登校前の預かり及び送り	72	2.9%
学童の放課後の預かり	0	0.0%
放課後児童室の迎え及び帰宅後の預かり	674	27.5%
放課後児童室からの帰宅後の預かり	0	0.0%
子どもの緊急時の援助	0	0.0%
子どもの習い事等の場合の援助	299	12.2%
保育所・学校等休み時の援助	12	0.5%
保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	16	0.7%
保護者等の求職活動・冠婚葬祭による外出の援助	9	0.4%
他の子どもの学校行事の場合の援助	3	0.1%
保護者等の外出の場合の援助	27	1.1%
保護者等の病気、その他の急用の場合の援助	1	0.0%
公共施設での講演会やコンサート開催時の一時保育活動(下段派遣)	103	4.2%
その他	388	15.8%
合計	2,449	100.0%

コーディネート件数

(回)

事前打ち合わせ(時間外)	68(7)
複数預かり(兄弟含む)	122
入会面接(依頼会員)	89
退会手続き	104

登録会員数

(人)

依頼会員	775
援助会員	250
両方会員	45
合計	1,070

(2) 講座・研修会及び会員交流会開催状況

①講座・交流会等

内 容	回数
更新講座	8回
サブリーダー会議	8回
必須研修	5回
テーマ 「自転車・自動車使用時における事故予防」	1回
テーマ 「家庭における乳幼児の事故防止」	1回
テーマ 「子どもの発達と事故予防」	1回
テーマ 「子どもへの応急手当訓練」	1回
援助会員養成講座（前期・後期：各4日）	2回
援助会員フォローアップ講座	2回
テーマ 「子どもの病気と看病の仕方」	2回
テーマ 「子どもの食生活」	2回
テーマ 「気になる子どもの行動や関わり」	2回
テーマ 「子どもの生活へのケアと援助」	2回
会員交流会	3回
子育て交流会・子育て講座・依頼会員登録会	4回

参加者数 延べ499名

● シルバーリーダー養成講座

6. シルバーリーダー養成講座

講座	開催日	場所	参加数 (修了者)
令和4年度 シニア向け 地域福祉デビュー講座①	令和4年7月27日～9月13日 (全6日間)	商工会議所、 社会福祉会館	18人 (14人)
令和4年度 シニア向け 地域福祉デビュー講座②	令和4年10月7日～11月16日 (全6日間)	山本コミュニティ センター	9人 (7人)
令和4年度 シニア向け 地域福祉リーダー養成講座	令和4年7月21日～8月26日 (全5日間)	社会福祉会館	16人 (15人)
令和4年度 介護予防 サポーター養成講座	令和5年1月11日～3月1日 (全7日間)	八尾市生涯学習 センターかがやき	29人 (29人)

令和3年度より、従来的一般コース・上級者コースから上記講座に変更しました。

● 介護予防サポーター事業

7. 市民介護予防推進員（介護予防サポーター）

(1) 登録人数 86 人（令和5年3月末現在）

(2) 実施主体

依頼元	高齢介護課	その他 行政	地域包括支 援センター	認知症 地域支援 推進員	やお オレンジ カフェ	高齢者 ふれあい サロン	合計
延人数	213人	0人	6人	0人	0人	0人	219人

（依頼後中止となり、活動に至らない数は除く）

(3) ステップアップ研修 令和4年度 未実施

【主な取り組みの活動指標】

活動指標	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)	R4年度 (目標)	R4年度 (実績)
ボランティアセンターにおける 福祉ボランティア登録者数(人)	1,710	1,741	1,773	1,623

基本施策 2-3 多様な関係機関・団体との連携

市内にはさまざまな地域活動団体や相談機関がありますが、日々の暮らしの中での課題も複合化、多様化しており、それぞれの団体や相談機関の負担も増加しています。

このような課題解決のために、地域福祉活動の充実に向けて、地域福祉に関連する多様な主体による既存ネットワークの強化とともに、福祉分野にとどまらず、地域で活動する多様な主体とのつながりを促進し、助け合いの輪を広げます。

【実施事業】

- 生活支援コーディネーター（SC）の配置・体制整備事業（再掲）
（地域の「やってみたい」を応援する場（プラットフォーム）に多様な主体が参加できるようにコーディネートする）

*生活支援コーディネーターの活動状況については、基本施策 1-2 に記載あり

- コミュニティワーカー（CoW）や生活支援コーディネーターによる地域福祉（関係機関との連携）の充実（新規）

*地域課題に対する多様な主体の連携をコーディネートした件数、地域活動や相談事業において関係機関と連携して個別支援を行った件数については、【活動指標】に記載あり

- 社会福祉施設連絡会事務局業務

*社会福祉施設連絡会の開催状況については、基本施策 3-5 に記載あり

- 民生委員児童委員協議会の運営支援

1. 八尾市民生委員児童委員協議会

社会奉仕の精神をもって地域の福祉向上に取り組む八尾市民生委員・児童委員によって構成されている組織で、本会が事務局を担っています。

部会	内容	場所	開催日
幹事会	会議	社会福祉会館	4月14日（木）、5月12日（木） 6月9日（木）、7月14日（木） 9月8日（木）、10月13日（木） 11月10日（木）、（臨時）12月8日（木） 12月15日（木）、2月9日（木） 3月9日（木）

企画部会	会議	社会福祉会館	4月14日(木)、5月12日(木) 6月9日(木)、7月14日(木) 9月8日(木)、10月13日(木) 11月10日(木)、12月15日(木)、 2月9日(木)、3月9日(木)
	民生委員の日 PR 活動		新型コロナウイルス感染拡大防止の為、 中止
	総会		書面審議
主任児童委員部会	会議	社会福祉会館	4月14日(木)、5月12日(木) 6月20日(月)、7月14日(木) 9月8日(木)、10月13日(木) 11月10日(木)、(臨時)12月2日(金) 12月15日(木)、2月9日(木) 3月9日(木)
広報部会	会議	社会福祉会館	6月30日(木)、9月15日(木) 9月29日(木)、1月11日(水) 3月22日(水)
生活福祉部会	正副部会長打合わせ	社会福祉会館	2月17日(金)
児童福祉部会	正副部会長打合わせ	社会福祉会館	2月13日(月)
障がい者福祉部会	正副部会長打合わせ	社会福祉会館	3月15日(水)
高齢者福祉部会	正副部会長打合わせ	社会福祉会館	3月14日(水)
新任民生委員児童 委員事務連絡会	事務連絡及び 説明会	市役所、他	4月1日(金)、12月1日(木) 2月1日(水)

● 関係団体事務局業務（献血、保護司会）

2. 八尾地区保護司会

犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支えるボランティア団体として、犯罪や非行を未然に防ぐために、家庭・学校・地域、関係団体とネットワークを結び、更生保護活動及び犯罪予防活動を行うことを目的としている保護司会の事務局を担っています。

開催日	場所	内容
令和4年 4月12日（火）	社会福祉会館	総会 (1) 令和3年度 事業報告承認の件 (2) 令和3年度 収支決算報告承認の件 (3) 令和4年度 事業計画（案）審議の件 (4) 令和4年度 収支予算（案）審議の件 (5) 保護司会会則の改定審議の件
第2火曜日開催	社会福祉会館	理事会 年10回
第4火曜日開催	社会福祉会館	定例会 年9回

3. 八尾地区更生保護女性会

地域社会の犯罪・非行の未然防止のための啓発活動を行うとともに、青少年の健全な育成を助け、犯罪をした人の更生保護を目的としている更生保護女性会をサポートしています。

開催日	場所	内容
令和4年 4月7日（木）	社会福祉会館	理事会（総会中止により理事会にて承認） (1) 令和3年度 事業報告について (2) 令和3年度 決算報告について (3) 令和3年度 監査報告について (4) 令和4年度 事業計画(案)について (5) 令和4年度 予算(案)について
第1木曜日開催	社会福祉会館	理事会 年9回（うち3回中止）

4. 社会を明るくする運動

すべての市民が犯罪の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない明るい社会を築くため、社会を明るくする運動に取り組んでいます。

開催日	会議名等	会議等の内容
令和4年 6月	「社会を明るくする運動」推進委員会	<p><案件></p> <p>第71回“社会を明るくする運動”事業報告 第71回“社会を明るくする運動”決算 第71回“社会を明るくする運動”周年事業積立金決算 第72回“社会を明るくする運動”実施要綱(案) 第72回“社会を明るくする運動”予算(案) 第72回“社会を明るくする運動”周年事業積立金予算(案)</p>
6月～9月	社明作文 コンテスト	<p>「社会を明るくする運動」作文コンテスト</p> <p>大阪府推進委員会への推薦作品数 6点</p>
7月1日 (金)	啓発活動 (学校・園向け)	<p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校、義務教育学校、こども園の校門前で登校時の声かけ・挨拶運動。(参加者：約500名) ・小学4年生(10歳)にクリアファイルとチラシを配付。
7月26日 (火)	啓発活動 (市民向け)	<p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アリオ八尾オレンジコートにてパネル展示と啓発グッズ(マスク)の配布。

5. 八尾市献血推進協議会

「愛の血液助け合い運動」として献血の普及および推進をはかる八尾市献血推進協議会の事務局を担っています。

開催日	場所	内容
6月8日(水)	社会福祉会館	<p>常任委員会</p> <p>(1)役員改選 (2)令和3年度 事業報告・収支決算、監査報告について (3)令和4年度 事業計画(案)・収支予算(案)について</p>
7月2日(土)	商工会議所	令和4年度 総会
12月3日(土)	プリズムホール周辺	冬の街頭キャンペーン(献血呼びかけ、ティッシュ配付)
7月～3月	献血ゼミナール	市内中学2年生へ八尾市オリジナル冊子・クリアファイル配付

(1) 月別献血実施状況一覧表

月	回数	台数	受付者数	献血者数		
				200mL 採血	400mL 採血	採血合計
4月	13回	12台	549人	14人	457人	471人
5月	6回	5台	392人	10人	331人	321人
6月	11回	11台	578人	8人	507人	515人
7月	12回	10台	578人	11人	474人	485人
8月	9回	8台	369人	2人	310人	312人
9月	7回	8台	435人	12人	359人	371人
10月	11回	8台	646人	7人	490人	497人
11月	12回	11台	561人	7人	475人	482人
12月	11回	10台	525人	5人	455人	460人
令和5年 1月	12回	10台	506人	5人	440人	445人
2月	11回	11台	492人	11人	425人	436人
3月	7回	6台	368人	1人	299人	300人
総計	122回	110台	5,999人	93人	5,002人	5,098人

● 当事者組織への支援（ひとり暮らし老人の会、介護者（家族）の会）（再掲）

*ひとり暮らし老人の会、介護者(家族)の会の研修開催状況については、基本施策1-3に記載あり

6. 社会福祉・障がい者団体助成金

八尾市の補助金に基づき、地域福祉の推進や当事者団体活動への助成を行っています。

団体名	助成金額
八尾地区保護司会	365,580円
八尾市母子寡婦福祉会	232,830円
ふたば里親会	30,000円
八尾市肢体不自由児者父母の会	50,760円
八尾市身体障害者福祉会	1,430,207円
八尾市聾者福祉会	730,000円
八尾視覚障がい者福祉協会	959,630円
八尾市障がい児者問題協議会	400,000円
八尾市障害者団体連合会	400,000円
八尾市献血推進協議会	350,000円
八尾地区募金会	100,000円
八尾市社会福祉協議会社会福祉施設連絡会	50,000円
八尾市介護者（家族）の会	50,000円
八尾市ひとり暮らし老人の会連絡会（いちょうの会）	0円
八尾市ボランティア連絡会	500,000円
合 計	5,649,007円

● 成年後見制度利用促進にかかる地域連携ネットワーク（中核機関）の推進（重点）

*成年後見制度利用促進にかかる地域連携ネットワーク（中核機関）の活動については、基本施策3-2に記載あり。

【主な取り組みの活動指標】

活動指標	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)	R4年度 (目標)	R4年度 (実績)
地域課題に対する多様な主体の連携をコーディネートした件数(件)	—	5	10	3
地域活動や相談事業において関係機関と連携して個別支援を行った件数(件)	—	5	10	6

基本目標 3 身近な地域における支援のためのネットワークづくりの推進

地域での困りごとや福祉ニーズなどに対応できるよう、本会ならではのサービス・事業等を展開します。

また、権利擁護や生活困窮者への支援、災害時における要配慮者支援などにおいて、関係機関や団体等のネットワークを活かして、専門機関としての支援を推進します。

さらに、複合的な問題や制度の狭間の問題等については、市・関係機関と連携し、ネットワークを活用しながら課題解決に取り組み、身近な地域での暮らしを支援します。

基本施策 3-1 身近な地域で展開する福祉の取り組み

私たちが暮らす地域には、生活するうえでさまざまな悩みや心配ごと、困りごとを抱えている人々があります。

また、地域での子育て支援の充実や待機児童ゼロの継続、高齢者の社会参加の促進といった地域全体の福祉ニーズへの対応も求められています。

そのため、一人ひとりの心配ごとや困りごとをはじめ、地域全体の福祉ニーズに応じて、きめ細かなサービスや事業などを展開します。

【実施事業】

● 心配ごと相談事業

1. 心配ごと相談事業

相談内容	人数	相談内容	人数
生計	0	人権・法律	1
年金	0	財産	2
職業・生業	0	事故	0
住宅	4	児童福祉・母子保健	1
家族	31	教育・青少年	1
結婚	0	心身障がい者（児）福祉	2
離婚	5	母子福祉・父子福祉	1
健康・衛生	1	高齢者福祉	9
医療	8	苦情	4
精神・衛生	12	生活困窮	2
その他	16	近隣	7
合計			107

● ファミリー・サポート・センター事業

*ファミリー・サポート・センター事業の活動状況については、基本施策2-2に記載あり

● 認定こども園の運営

2. 認定こども園（おひさまこども園）の運営

おひさまこども園は、利用定員 160 名の認定こども園として 0 歳児から 5 歳児までの園児を受け入れています。職員体制については、配置基準を確保するとともに、シフト体制や研修等の保障に必要な人員を配置し質の高い教育・保育の提供に取り組みました。

この他、コロナ感染症に対する感染予防対策として、日々の消毒など看護師を中心に行い、園舎内への立ち入りの制限等、保護者の協力もいただきながら、感染症の発生状況を踏まえ行事等に取り組みました。

また、予定していた民生委員児童委員による「はとぼっぼ」などへの支援や地域の様々な団体への支援については実施できませんでした。地域子育て支援事業「さんさんひろば」については、人数を制限しながら交流事業をはじめ子育て相談や子育てに関する情報提供、講演会等を実施しました。

(1) 定 員 160名

	1号認定児童	2号認定児童	3号認定児童	計
0歳児	—	—	15	15
1歳児	—	—	20	20
2歳児	—	—	20	20
3歳児	8	27	—	35
4歳児	8	27	—	35
5歳児	8	27	—	35
計	24	80	55	160

(2) 在園児数(毎月1日現在)

	1号認定			2号認定			3号認定			計
	3歳児	4歳児	5歳児	3歳児	4歳児	5歳児	2歳児	1歳児	0歳児	
R4年 4月	7	8	6	26	26	27	20	20	15	153
5月	8	7	7	26	26	27	20	20	15	156
6月	8	7	8	26	26	27	20	20	15	157
7月	8	8	8	27	25	27	20	20	15	158
8月	8	8	8	27	24	27	20	20	15	157
9月	8	8	8	27	25	27	20	20	15	158
10月	8	8	8	27	25	27	20	20	15	158
11月	8	8	8	27	25	27	20	20	15	158
12月	7	8	8	27	25	27	20	20	15	157

R5年 1月	7	8	8	27	25	27	20	20	15	157
2月	8	8	8	26	25	27	20	20	15	157
3月	8	8	8	26	25	27	20	20	15	157

(3) 職員体制 (令和5年3月31日現在)

職種等	人数
園長	1
主幹保育教諭	2
保育教諭等	42
看護師	1
その他	3

(4) 令和5年度の園児募集と入園児数

	1号		2号		3号	
	募集人数	入園児数	募集人数	入園児数	募集人数	入園児数
0歳児	—	—	—	—	15	15
1歳児	—	—	—	—	6	6
2歳児	—	—	—	—	—	—
3歳児	8	8	9	9	—	—
4歳児	0	0	3	1	—	—
5歳児	0	0	2	0	—	—
計	8	8	14	10	21	21

<募集と入園決定>

1号認定児

入園申込書等配布 令和4年 9月1日(木)～9月30日(金)
 申請受付 令和4年10月3日(月)・4日(火)
 入園決定 令和4年10月6日(木)

2・3号認定児

申込書等配布 令和4年10月3日(月)以降 随時配布
 4月入園申請受付 令和4年11月1日(火)～11日(金)
 入園決定 令和5年 2月8日(水)
 八尾市保育・こども園課の利用調整により決定

(5) 行事等の実施状況 ※コロナ感染症のため中止・変更した行事あり。

月	内 容
4月	入園式(1日)
5月	幼児徒歩遠足(18日) 歯科検診(26日)
6月	定期健康診断(8日) 検尿(9日)
7月	七夕のつどい(7日) 夏まつり(12日～14日) 終業式(20日)
8月	1号認定児自由登園日(25日)
9月	始業式(1日)
10月	3歳児運動会(12日) 4歳児運動会(14日) 聴力検査(18日) 5歳児運動会(19日) 乳児徒歩遠足(25日) 視力検査(25・27・31日) 定期健康診断(26日)
11月	視力検査(1日) 幼児バス遠足(2日) 0歳児保育参観(8日) 1歳児保育参観(9日) 2歳児保育参観(10日) 自衛消防訓練(11日) 5歳児クッキング保育(17日)
12月	おたのしみ会(22日) 終業式(23日)
1月	始業式(10日)
2月	節分のつどい(3日) 3・4歳児生活発表会(17日) 2・5歳児生活発表会(22日)
3月	お別れ会(10日) 卒園式(23日) 修了式(24日)

毎月 誕生会・発育測定・避難訓練(全園児)

(6) 病児保育(体調不良児対応型)利用者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
11	10	24	15	8	6	13
11月	12月	1月	2月	3月		計
9	16	8	6	6		132

(7) 一時預かり(一般型)の利用者数(人) ※コロナ感染症のため利用を制限した

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
0	0	9	28	2	0	12
11月	12月	1月	2月	3月		計
14	5	15	30	19		134

(8) 休日保育の利用状況(人) ※コロナ感染症のため利用を制限した

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
6	14	7	10	0	8	9
11月	12月	1月	2月	3月		合計
6	7	4	6	6		83

(9) 職員研修の実施状況

※コロナ感染症のため研修会が中止、内容変更となった月がありました。

月	研修内容
5月	幼・保・こ・小合同研修会(1人) 遊びの環境構成 WEB研修(1人) 0歳児からの段階的体育遊び WEB研修(1人) 幼児教育アドバイザー育成研修(1人)
6月	保育士等キャリアアップ研修(2人) 公立認定こども園公開保育(1人) 所長・園長・主任次期リーダー等コース(1人) ちゃいるどネット大阪新任研修(1人) 運動遊びを実施する際の配慮について(1人) 保健会講演会(2人) 幼児教育研修(2人) 幼児教育アドバイザー育成研修(1人)
7月	特別支援教育 保育ゼミ全体研修(1人) 幼児教育アドバイザー育成研修(1人) 人権保育講座・保育士等キャリアアップ研修(2人) 園内公開保育 一人ひとりを大事にする幼児のクラスづくり(1人)
8月	幼児教育研修<管理職研修>(1人) 保育所保健研修会(1人) 公立認定こども園公開保育(1人) 保育所等キャリアアップ研修(3人) 遊び講座(1人) 園内公開保育 幼児教育研修(カリキュラムマネジメント)(1人) 幼児教育アドバイザー育成研修(1人)
9月	園内公開保育 一人ひとりを大事にする幼児のクラスづくり(1人) 保育所等キャリアアップ研修(3人) ちゃいるどネット新任研修(1人) 公立認定こども園公開保育(4人) 所長・園長・主任次期リーダー等コース(1人) ちゃいるどネット大阪特別講座(1人) 幼児教育アドバイザー育成研修(1人)
10月	保育所等キャリアアップ研修(2人)
11月	保育士等キャリアアップ研修(3人) 所長・園長・主任次期リーダー等コース(1人) ちゃいるどネット新任研修(1人) 令和4年度保育と講演(2人) 幼・保・こ・小合同研修会(1人) 幼児教育アドバイザー育成研修(1人)
12月	幼児教育研修(2人) 幼児教育アドバイザーによる企画研修(1人) 保育所保健会研修(1人) 幼児のおもちゃの選び方 オンライン研修(4人) 保育士等キャリアアップ研修(1人)
1月	幼・保・こ・小合同研修会(1人) 市町村保育担当職員研修(2人) 保育士等キャリアアップ研修(3人) 幼児教育アドバイザー育成研修(1人)
2月	令和4年度緊急保育士研修会(1人) 令和3・4年度幼児教育研究 研究発表(2人) 子どもの人権研修会(1人) 八尾市保育士部会保育士研修(1人)
3月	新任職員研修(1人) 八尾市要保護児童対策地域協議会研修(1人)

(10) その他の活動

年齢の枠を外した「みんなのひろば」を実施し、交流の場の充実を図りました。子育て相談については年齢別ひろばの活動中や午後の時間帯を活用して、電話や対面での相談を受けるようにしました。また、さんさんひろばの新しいパンフレット作成したり、ひゅーまんフェスタに参加したりしながら子育てに関する様々な情報提供を行いました。

子育てに役立つ講演会やイベントについては、年間計画に沿って毎月実施しました。

● 地域子育てつながりセンター事業「さんさんひろば」の運営

3. 地域子育てつながりセンター事業「さんさんひろば」の運営

①年齢別ひろばの実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳	27	16	17	19	13	16	28	35	3	21	16	13	224
1歳	20	33	25	15	18	28	28	25	6	11	19	27	255
2歳	12	14	26	30	21	48	27	24	4	15	13	13	247
3歳	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	1	1	6
4歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

● 老人福祉センター事業の充実

4. 老人福祉センター事業

高齢者の生きがいをづくりや健康増進、会員交流を図るため、同好会活動をはじめ、市民が参加しやすい運営に取り組みました。新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、センター利用前に検温と手指の消毒、健康チェックシートの記入、三密の回避等や、各同好会活動に沿った感染対策をしました。

(1) 利用状況（同好会会員を含む） (単位：人)

	会員	会員以外	合計
利用件数	20,825	182	21,007

(2) 同好会活動状況 (単位：人)

同好会名	年間人数	同好会名	年間人数	同好会名	年間人数
書道	895	社交ダンス	1,591	バンパー	3,915
華道	244	手芸	393	水彩画	85
茶道（裏）	88	俳句	272	八老劇団	696
詩吟	181	謡曲	217	カラオケ	1,558
将棋	5,361	舞民踊	317	パソコン	44
囲碁	3,616	民謡	117	コーラス	446
茶道（表）	101	ダーツ	400	フラダンス	288
小計	10,486	小計	3,307	小計	7,032
合計					20,825

(3) 市民向け公開講座

第1回		第2回	
日時	10月11日（火）	日時	10月18日（火）
講師	大井 操子氏	講師	和田 城二氏
テーマ	リズム体操	テーマ	体スッキリ
参加者	20名	参加者	19名

(4) ひまわりカフェ

老人福祉センター（福祉会館3階）にて、高齢者ふれあいサロンをボランティア主体で開催しました。

名 称	内 容
ひまわりカフェ	毎週金曜日 開催 48 回 参加者 延べ 879 人 開催関係者（ボランティア） 延べ 150 人

● 車いすの貸し出し

5. 福祉機器等の貸出

車いすの貸出をはじめ高齢者疑似体験セットなどの貸出を行い、体験型の福祉教育の普及をおこなっています。

貸出物品（種類）	延貸出数	貸出物品（種類）	延貸出数
車椅子	3 6 4	高齢者疑似体験セット	6
点字板	5 0	ハンズフリーマイク	1 2
白杖	1 0	段差セット	3
アイマスク	1 0		

6. 会議室等利用状況

八尾市立社会福祉会館の会館管理業務を市より受託しており、その一環で会議室等の貸部屋を行っています。令和4年度は5月に緊急事態宣言のため休館し、その他については「新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」に基づき、会議室の利用人数や活動内容の制限をしながら利用いただきました。

	在宅福祉サービスネットワーク センター	社会福祉会館
利用件数	596	2,634

【主な取り組みの活動指標】

活動指標	R 2 年度 (実績)	R 3 年度 (実績)	R 4 年度 (目標)	R 4 年度 (実績)
地域子育て支援拠点「さんさんひろば」の利用者数(延べ利用組数)	3 6 2	4 5 0	4 8 0	7 3 2
地域子育て支援拠点「さんさんひろば」のWEB交流会等への参加者数(人)	—	5	1 2	* 0

* R4年度においては、WEB操作に関する専門的な知識やスキルの習得に努めたため交流実績なし。

基本施策 3-2 「自分らしく暮らしたい」を支える権利擁護の推進

認知症や知的・精神障がいなどの理由で、自分で預貯金などの財産管理や介護サービスなどの契約手続きをすることが難しい人や、商品の購入などの契約で正しい判断ができずに悪質商法や詐欺などの消費者被害に遭うおそれがある人の暮らしを支えます。

権利擁護センターでは、日常生活を送るうえでの金銭管理や福祉サービスの利用援助を行います。また、権利擁護支援の地域連携ネットワークの中核機関として法律や福祉の専門機関と連携しながら、成年後見制度の利用促進をはじめ権利擁護に関する専門職による相談等の支援に取り組みます。

【実施事業】

● 日常生活自立支援事業

1. 権利擁護センター

(1) 日常生活自立支援事業

日常生活自立支援事業では、認知症や知的障がい、精神障がい等によって判断能力の不十分な方が地域で安心して暮らすことが出来るように下記の支援を行います。

福祉サービス等の利用援助	福祉サービス等を利用するために必要な手続きや利用料金の支払いを代理で行います。
金銭管理サービス	預貯金の出し入れ、公共料金や家賃等の支払い、年金等の受け取りを代理で行います。
書類等預かりサービス	預貯金通帳や証書等重要書類や印鑑等をお預かりし、金融機関の貸金庫で保管します。

①契約締結件数

(単位：件)

事項	対象者				合 計
	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	
新規契約者数	7	4	14	0	25
終了者数	4	3	5	0	12
実利用者数 (令和5年3月末日現在)	39	49	77	0	165

②生活支援員活動件数（契約後活動件数）

(単位：件)

事項	対象者				合 計
	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	
総活動件数	687	1,489	2,563	0	4,739
うち生活保護受給者分	550	1,166	2,242	0	3,958

③訪問相談件数（契約前の訪問相談件数）

（単位：件）

事項	対象者					
	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	不明	合計
訪問件数	34	16	88	2	0	140

④相談援助件数（問い合わせ・相談援助件数）

（単位：件）

事項	対象者					
	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	不明	合計
援助件数	1,243	1,721	2,861	11	0	5,836

● 法人後見事業

2. 法人後見推進事業

本会が法人として認知症や知的障がい・精神障がい者等、判断能力が不十分な方々の成年後見制度の利用を支援します。

事項	対象者			
	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	合計
成年後見等受任件数 （令和5年3月末日現在）	1	0	1	2

（単位：件）

● 市民後見人推進事業の充実

3. 市民後見人推進事業

弁護士などの専門職後見人に代わって、住民同士の助け合い活動として、市民後見人を養成しています。

	学習内容・テーマ	場所	開催日（実施日）
①	市民後見人養成講座 オリエンテーション	布施駅前市民プラザ 大阪社会福祉指導センター	令和4年6月10日（土） 6月18日（土）
②	市民後見人養成講座基礎講習 （4日間）	大阪社会福祉指導センター 大阪府社会福祉会館	9月3日（土）、9月17日（土） 10月15日（土）、10月29日（土）
③	市民後見人養成講座実務講習 （7日間）	大阪府社会福祉会館 大阪社会福祉指導センター	11月12日（土）、11月19日（土）、 12月10日（土）、令和5年1月14日（土）、 1月28日（土）
市民後見人養成講座修了者数		3名	

市民後見人バンク登録者数 31名（令和4年度 養成講座修了者は含まず）	
専門相談の開催	28回
市民後見人活動実践報告	令和4年 5月27日(金)厚労省主催：市町村セミナー
	9月6日(火)八尾市社会福祉協議会主催： 市民後見人バンク登録者研修会
	10月29日(土)大阪府社会福祉協議会主催： 市民後見人養成講座
	令和5年 2月28日(火)八尾市社会福祉協議会主催： 市民後見人バンク登録者研修会 3月11日(土)東大阪市地域包括支援センター千寿園主催： 介護予防教室

- 成年後見制度利用促進にかかる地域連携ネットワーク（中核機関）の推進（重点）（再掲）
（弁護士会・司法書士会・社会福祉士会による「市民向け個別相談会」「サポートチームへの専門職派遣」、協議会・ワーキング会議開催など）

4. 成年後見制度利用促進事業

認知症になっても、障がいがあっても自分らしく暮らせる八尾のまちをめざすため、令和3年3月に「八尾市成年後見制度利用促進計画」を八尾市が地域福祉計画と一体的に策定しました。

本計画に基づき、本市における権利擁護支援の中核となる機関（以下、「中核機関」という。）を八尾市社会福祉協議会が受託し、法律・福祉の専門職団体や関係機関が参画する「連絡会」を通じて、「サポートチーム」を支援することで、成年後見制度の利用促進を図り、成年後見制度による支援を必要とする人が適切に制度を利用できる仕組みづくりを行い、市民や関係機関がより身近に相談できるよう相談体制を整え取り組んでいます。

（1）成年後見制度利用促進協議会

①開催日

【第1回】令和4年10月20日（木）、【第2回】令和5年3月16日（木）

（2）ワーキング会議の開催

実務担当者で構成された組織で、八尾市独自の仕組みです。成年後見制度の利用がより効果的に行われるよう、地域連携ネットワークにおける中核機関の機能や役割、権利擁護にかかる相談事例及び支援方法、効果的な広報などの調査・検討を行ってきました。

①開催日

令和4年6月7日（火）、7月28日（木）、9月15日（木）、11月28日（月）、

令和5年2月16日（木）

（3）実務者連絡会の開催

権利擁護に関する支援の状況の報告やケース検討（市長申立ての検討を含む）

高齢介護課： 9件、障がい福祉課 0件、権利擁護センター 1件

5. 成年後見制度利用促進協議会の広報・啓発活動

権利擁護センターや成年後見制度について、広く市民に周知するために、行政機関、高齢者あんしんセンター、障がい者相談支援事業所及び関係機関に対し、積極的に広報・啓発活動を展開するためのツールを作成しました。

(1) 権利擁護センターのパンフレットとPRカードの配架

(2) 共通アセスメントシートの活用

(3) 出前講座の開催

(4) 研修等の開催

- ・動画視聴型とし、専門職からの成年後見制度の概要や申立て書類の書き方等の研修会を開催
- ・意思決定支援研修会「基礎編」令和4年10月14日 参加者数83名
「応用編」令和5年2月22日 参加者数73名 を開催

6. 成年後見制度利用促進協議会の相談事業

市民をはじめ市役所や関係機関などから受けた成年後見制度に関する相談について

(1) 相談件数 150件

(2) 成年後見制度に関する「個別相談会」の実施

- ・実施頻度等 月1回（1日2枠） 第2金曜日13:30～
- ・実施回数 20件／22枠 うち事前キャンセル2件

(3) サポートチームへの専門職派遣の実施

サポートチームに対し、支援方針を決定するためのアドバイス等を行う法律・福祉の専門職（弁護士・司法書士・社会福祉士）を派遣。

- ・実施頻度等 月1回（1日1枠）毎月第4水曜日 実施回数0回／11枠

7. その他

(1) 市民後見人活動記録集の作成

バンク登録者に対し、市民後見人活動の具体的な活動がイメージできるよう、また活動を残していくため作成しました。

(2) 市民後見人活動PRグッズの作成

バンク登録者の意見を集約し、トートバッグを作成。バンク登録者へ配付しました。

(3) 他市交流

日付	内容
令和4年9月20日	豊中市社会福祉協議会と情報交換 (Zoomにて)
12月1日	富田林市社会福祉協議会2名 中核機関について視察
令和5年1月12日	吹田市社会福祉協議会3名 中核機関について視察
3月8日	泉南市社会福祉協議会 中核機関について視察

【主な取り組みの活動指標】

活動指標	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)	R4年度 (目標)	R4年度 (実績)
権利擁護に関する相談件数 (回)	—	100	117	150
市民後見人養成講座バンク登 録者数 (人)	29	29	37	31

基本施策 3-3 生活困窮者への支援

新型コロナウイルス感染症に伴う「緊急事態宣言」の発出などの経済危機では、安定した雇用制度が揺らぎ、所得の低下による困窮状態に陥る人々が増加しています。また、地域社会における「つながり」の希薄化が進み、社会的孤立や貧困の連鎖といった課題も深刻化しています。

こうした状況の中、平成 25 年度に施行された生活困窮者自立支援法に基づき、最後のセーフティネットである生活保護制度に至るまでの自立支援機能の充実・強化を図り、「生活困窮者の自立と尊厳の確保」と「生活困窮者支援を通じた地域づくり」をめざした生活困窮者への支援を行います。

【実施事業】

● 大阪府社会福祉協議会「生活福祉資金貸付事業」

1. 新型コロナウイルス感染症対応に伴う生活困窮者支援について

(1) 新型コロナウイルス感染症特例貸付

本資金は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入が減少・失業した方のおられる世帯に対する貸付です。(令和 4 年 9 月末で受付を終了) (件)

資金種別	相談件数	申請件数	決定件数
緊急小口資金	1,592	263	256
総合支援資金(初回貸付)		262	261

※大阪府社会福祉協議会の決定件数は入金日を基準日としているため件数が異なります。

※総合支援資金の延長は令和 3 年 6 月末、再貸付は令和 3 年 12 月末で受付を終了しました。

(2) 生活困窮者自立支援金との連携

生活困窮者自立支援金を利用された方へアンケートを実施し、暮らしの困りごとなどを把握し、面談や電話相談を行い継続的な支援を行い、浮かび上がった課題に対し、適切な制度や福祉サービスの利用につなげました。

2. 緊急小口資金等のフォローアップ支援事業

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた生活福祉資金貸付制度における緊急小口資金等の特例貸付を借り受けた世帯で、生活に困窮しており、支援が必要と考えられる世帯に対しフォローアップ支援を行い、適切な制度につなげました。(令和 4 年 12 月 19 日より実施)

(1) 個々の状況に配慮した償還猶予等の案内など

支援内容	件数
①相談対応	1,421
②償還猶予申請書作成	62
③免除・償還手続きの制度説明・支援	389
④自立支援機関へのつなぎ	16
⑤生活福祉資金の説明・つなぎ	78
⑥その他	63

3. 大阪府生活福祉資金貸付事業（新型コロナ特例貸付除く本則貸付）

大阪府社会福祉協議会からの受託事業として、低所得者、障がい者、高齢者世帯の自立支援策として、相談・貸付事業を行っています。

(1) 貸付事業報告

		申 請		貸 付	
		件数	金額 (円)	件数	金額 (円)
生活福祉資金		25	19,464,000	24	14,655,000
	生業を営むために必要な経費	0	0	0	0
	技能習得に必要な経費	0	0	0	0
	住宅の増改築などに必要な経費	1	930,000	1	930,000
	福祉用具等の購入に必要な経費	0	0	0	0
	障がい者用自動車の購入に必要な経費	2	4,090,000	1	1,650,000
	中国残留邦人等の年金保険料追納に必要な経費	0	0	0	0
	療養に必要な経費	0	0	0	0
	介護サービス等を受けるために必要な経費	0	0	0	0
	災害を受け自立のために臨時に必要な経費	0	0	0	0
	冠婚葬祭に必要な経費	0	0	0	0
	住居の転居、給排水設備等の設置に必要な経費	0	0	0	0
	就職などの支度に必要な経費	0	0	0	0
	日常生活上一時的に必要な経費	0	0	0	0
	教育支援資金	22	14,444,000	22	12,075,000
緊急小口資金		6	600,000	5	466,000
総合支援資金		0	0	0	0
	住宅入居費	0	0	0	0
	一時生活再建費	0	0	0	0
	生活支援費	0	0	0	0
臨時特例緊急つなぎ資金		0	0	0	0
生活復興支援資金		0	0	0	0
総 合 計		31	20,064,000	29	15,121,000

*不動産担保型生活資金については、利用がありませんでした。

● 生活支援相談センターの充実（自立支援相談事業・就労支援事業・住居確保給付金事業・家計改善支援事業）

（福祉生活相談員などの行政や大阪しあわせネットワークなどの福祉関係機関との連携）

4. 生活困窮者自立相談支援事業

生活困窮者の自立の促進と社会的孤立の解消に向けて、仕事や生活の困りごとなど一人ひとりの状況に合わせた支援プランを作成し、専門の支援員が関係機関・団体と連携し支援を行います。

（主な生活困窮者自立支援制度における取り組み）

- ①自立相談支援事業
- ②住居確保給付金事業
- ③一時生活支援事業
- ④就労準備支援事業
- ⑤就労訓練事業（中間的就労）
- ⑥家計改善支援事業

（1）相談者・相談内容など

内 容		合 計
新規相談受付者数(本人未特定を含む)		409
支援対象者数		3,013
延べ支援回数		7,751
支援終了者数		105
支援プラン作成件数		132
就労支援対象者数		88
法に基づく事業等 利用件数	住居確保給付金	83
	一時生活支援事業	7
	家計改善支援事業	6
	就労準備支援事業	2
	認定就労訓練事業	1
	自立相談支援事業による就労支援	19
その他	生活福祉資金等による貸付	70
	生活保護受給者等就労自立促進事	28
評価実施件数(再プランを含む)		122
評価結果	終結	105
	再プランして継続	17
	中断	0
見られた変化	変化あり	105
	変化なし	17
就労開始		31
就労収入が増加		20

(2) 生活困窮者自立支援制度人材育成研修

本センターが実施する事業担当の人材育成研修として、国・大阪府の研修を受講し修了しました。

- ① 相談支援員研修 2名
- ② 就労支援員・就労準備支援員従事者研修 2名
- ③ 会計改善支援事業従事者研修 1名

(3) 研修会の開催

日本ファイナンシャルプランナーズ協会と連携し、家計改善支援、生活困窮者自立支援に伴う研修会を開催しました。

- ①日 時 令和5年2月17日(金)午後2時～
- ②テーマ 「FPに学ぶ 家計改善に役立つ知識」
- ③講 師 内宮慶之(うちみやよしゆき)FP事務所
一級ファイナンシャル・プランニング技能士 内宮 慶之 先生

(4) 大阪しあわせネットワーク(オール大阪の社会福祉法人による社会貢献事業)・施設CSWとの連携

①生活困窮者レスキュー事業

「今日・明日食べるものがない」「医療受診したいがお金がない」「電話を止められ就労活動が出来ない」など、失業、介護、障がい、虐待、DVなどさまざまな「生活SOS」に対応する総合生活相談事業と連携し、各種制度やサービスの利用、緊急を要する場合は、食材の提供など経済的援助(現物給付)で連携しました。

②居住支援法人との連携

経済的な理由などから住まいを失った方に対し、居住支援法人と連携して住まい探しを行い、生活保護制度をはじめとする福祉サービスにつなげました。

内 容	件 数
大阪しあわせネットワークとの連携	16件
居住支援法人との連携	9件

(5) 自立に向けた切れ目のない就労支援活動

直ちに就労が難しい方に対して、八尾市パーソナルサポートセンターや社会福祉法人と連携し、一般就労への準備・訓練事業で連携しました。また、地域においては、地域就労支援コーディネーターや福祉生活相談員と協働して自立に向けての生活支援・就労支援を行いました。

内 容	件 数
生活福祉相談員・地域就労支援コーディネーターとの連携	10件

(6) 住居確保給付金

①相談件数

来 所	電 話	件 数
254	1,032	1,286

②申請件数

申請内容	件数
当 初	38
延 長	34
再延長	25
再支給	21
合 計	118

(7) ボランティアグループ「うぐいすの会」との連携

コロナ禍において仕事を失った、減収した方へ、バザー等の収益を活用して、食材提供（現物給付）を行っているボランティアグループと連携しました。

- ① 実施回数 10回

(8) NPO 法人との連携

ひとり親世帯などに食材支援を行っているNPO 法人グッドネーバーズ・ジャパンと連携し、八尾市での食材提供の拠点づくりを行いました。

- ① 実施頻度 月1回
 ② 実施場所 八尾ファミリロード内 「ごはんや かれん」
 ③ 利用者 約30名

● 就労準備事業、中間的就労認定事業所との連携

（就労支援コーディネーターなど商工・労働関係部局との連携、切れ目のない就労支援）

5. 自立に向けた切れ目のない就労支援活動

直ちに就労が難しい方に対して、八尾市パーソナルサポートセンターや社会福祉法人と連携し、一般就労への準備・訓練事業で連携しました。また、地域においては、地域就労支援コーディネーターや福祉生活相談員と協働して自立に向けての生活支援・就労支援を行いました。

就労支援をした件数	88
就労準備事業につなげた件数	2
就労訓練（中間的就労）につなげた件数	4
中間就労の受け入れ事業者数	1

【主な取り組みの活動指標】

活動指標	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)	R4年度 (目標)	R4年度 (実績)
相談件数に占める生活困窮者 自立支援プランを作成した割合 (%)	20.0	46.9	39.0	32.2

基本施策 3-4 災害時における支援

頻発する災害をうけて、日頃からの住民同士の関係づくりなど災害に対する関心が高まっています。本会においても地域活動を通じた平常時からの見守り活動を行っており、八尾市が行う高齢者・障がい者等の「同意者リスト」を活用した支援に連携・協力します。

また、「八尾市災害ボランティアセンター」の開設を要請されたときは、被災者・被災地復興支援のための応援対策を円滑に遂行するとともに、八尾市及び関係機関・団体・NPO等と協力しながら、被災者・被災地の一日も早い復興と地域の再生を図るために、市内外のボランティアによる救援活動を効果的・効率的に展開することを目的に設置します。

【実施事業】

● 市が実施する災害時要配慮者支援事業への連携・協力

1. 避難行動要支援者への取り組みについて

市は災害に備えて避難に手助けを要する人の名簿を作成し、地域と行政課が協力して、避難支援の体制づくりを進めています。令和4年度から市が「わたしの避難計画」を送付し対象者が記入したものを基に、民生委員児童委員協議会が4月～5月に聞き取り調査を実施し、記載内容の確認と日常の生活状況から災害時の避難方法などを確認しました。

○わたしの避難計画の策定流れ

日時	内容
令和3年12月	市から各対象者（約8,000人）に「同意確認書兼わたしの避難計画」書を郵送 対象者から市に返信
1月～3月	返信内容の入力（市）
令和4年4月～5月	民生委員による聞き取り調査（同意対象者 約5,000人）
6月	わたしの避難計画を民生委員が市に提出
7月	校区まちづくり協議会の受領に向けて市が準備

● 災害時における障がい者理解支援講習会の開催支援（佐野満男基金）

*災害時における障がい者理解・支援講習会の開催状況については、基本施策1-1に記載あり。

● 災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施

2. 災害ボランティアセンター設置運営訓練

	開催日	場 所	内 容
災害ボランティアセンター研修会	令和5年 2月28日(火)	吹田市社会福祉協議会	災害ボランティア登録に関する視察 参加者 職員4名

● 災害ボランティア、災害ボランティアリーダーの養成

*災害ボランティア登録者数については、活動指標に記載あり。

【主な取り組みの活動指標】

活動指標	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)	R4年度 (目標)	R4年度 (実績)
災害ボランティア登録者数 (人)	65	65	73	36

基本施策 3-5 包括的な福祉のネットワークの推進

人々の暮らしや地域のあり方が多様化する中で、複合的な課題や制度の狭間の問題を解決するため、従来の制度・分野ごとの縦割りによる支援から、包括的な支援や地域で支え合う地域福祉の推進が求められています。

そのため、市・関係機関をはじめとする多職種連携による課題解決に取り組むとともに、公的制度・サービスと地域主体の支援などをつなぎ、地域において包括的な福祉のネットワークを形成していきます。

【実施事業】

● 生活困窮者自立相談支援事業の実施（市の「つなげる支援室」との連携）

1. 市のつなげる支援室と連携して取り組んだ件数

	つなげる支援室と連携した件数
CoWによる地域活動	1件
生活困窮者自立支援（相談含む）における個別支援	6件
日常生活自立支援事業（相談含む）における個別支援	1件

* 地域活動や相談事業において関係機関と連携して個別支援を行った件数については、基本施策 2-3 の【活動指標】に記載あり

● 生活支援コーディネーター（SC）の配置・体制整備事業（再掲）

（地域の「やってみたい」や地域の情報を共有する場（プラットフォーム）に多様な主体（団体や事業者等）が参加できるようにコーディネートする）

* 生活支援コーディネーターの活動状況については、基本施策 1-2 に記載あり

* 地域の情報を共有する場（プラットフォーム）の開催回数については、活動指標に記載あり

* 地域課題に対する多様な主体の連携をコーディネートした件数については、基本施策 2-3 の【活動指標】に記載あり

● 大阪しあわせネットワークとの連携（オール大阪の社会福祉法人による地域貢献事業）

* 大阪しあわせネットワークとの連携については、基本施策 3-3 に記載あり。

● 就労準備事業、中間的就労認定事業所との連携

（就労支援コーディネーターなど商工・労働関係部局との連携、切れ目のない就労支援）

* 就労準備事業、中間的就労認定事業所との連携については、基本施策 3-3 に記載あり。

● 地区福祉委員長連絡協議会の開催

2. 地区福祉委員長連絡協議会

地域福祉の推進と本会・市との連携を行うための連絡会や研修会を開催しております。32の地区福祉委員長が一堂に会します。

開催日／会場	事業内容
<p>令和4年 5月20日(金) 社会福社会館</p>	<p style="text-align: center;">第1回 地区福祉委員長連絡協議会</p> <p>1. 依頼 (1) 地区人権研修による人権啓発の依頼について 2022・2023年度八尾市人権啓発推進協議会の役員候補地区の推薦について (2) 小規模特認校制度・指定校変更の弾力的な運用について (3) 民生委員・児童委員一斉改選に向けた新任委員等の選任に係る協力依頼について</p> <p>2. 案件 (1) 令和4・5年度 地区福祉委員長連絡協議会 役員改選について (2) 佐野満男基金 各種助成金の募集について (3) その他 ①令和4年度 食品衛生研修会のお知らせ ②八尾市社会福祉協議会地域福祉強化助成金の申請と報告について ③ボランティア・市民活動行事保険、ボランティア活動保険について</p>
<p>9月16日(金) 社会福社会館</p>	<p style="text-align: center;">第2回 地区福祉委員長連絡協議会</p> <p>1. 依頼 (1) 「若者相談窓口」の開設について</p> <p>2. 案件 (1) 障がい者福祉推進助成金（佐野満男基金）の第2次募集について (2) 歳末助成金にかわる助成金（各地区：5万円）の使途について (3) その他 ①杖のプレゼントについて ②年末ほこりバスターズ事業について ③8/26：「地区福祉委員会 広報研修会」の報告 ④広報紙などのイラスト使用について ⑤市民スポーツ祭での社協会長からお祝いメッセージの送付について ⑥「青少年健全育成と家庭教育を考える八尾市民大会」への参加について</p>

開催日／会場	事業内容
12月16日 (金) 社会福社会館	<p style="text-align: center;">第3回 地区福祉委員長連絡協議会</p> 1. 案件 (1) 令和5年度 地区福祉委員会への補助金・助成金について (2) 障がい者福祉推進助成金（佐野満男基金）について ①令和4年度の申請状況の報告 ②令和5年度の佐野満男基金の助成について (3) 地区福祉委員会基盤整備特別助成金（5万円） モバイルWifi ルーターとまごチャンネルの貸出希望調査について (4) 令和4年度 先進地区視察研修会の中止について (5) 小地域ネットワーク活動リーダー研修会について (6) その他 ①機関紙作成に関する調査について ②ふれあい喫茶型サロンの情報提供について ③「こどもの居場所づくり」助成金について ④「ボランティア・市民活動行事保険」の取り扱いについて ⑤「はたちのつどい」来賓見合わせについて ⑥八尾市社会福祉協議会 理事・評議員の選出について ⑦令和5年度の地区福祉委員長連絡協議会 日程について
令和5年 3月17日（金） 社会福社会館	<p style="text-align: center;">第4回地区福祉委員長連絡協議会</p> 1. 依頼 (1) 警察活動への協力依頼について (2) 地区人権研修による人権啓発の依頼について (3) 地域における健康づくりの取り組みに関するアンケート調査について 2. 案件 (1) 令和4年度地区福祉委員長連絡協議会事業・会計報告（案）及び監査報告について (2) <補助金・助成金>令和4年度 報告・令和5年度 申請について ①地区福祉委員会・小地域ネットワーク活動補助金について ②八尾市社会福祉協議会地域福祉強化助成金について ③令和5年度 障がい者福祉推進助成金（佐野満男基金）について (3) その他 ① 令和5年度の地区福祉委員長連絡協議会 日程について

● 社会福祉施設連絡会の開催

3. 社会福祉施設連絡会

市内の社会福祉法人で構成される組織で本会が事務局を担っています。高齢・障がい・児童の各分野の社会福祉法人が協働して地域福祉の推進を図ります。

開催日	場 所	内 容
令和4年 5月9日（月）	社会福社会館	第1回役員会 1. 令和4年度総会・研修会の開催について

5月17日(火) 18日(水)	オンライン	臨時福祉避難所の個別協定の見直しと施設の基礎情報調査に関する説明会 説明者:八尾市健康福祉部(高齢介護課・障がい福祉課・地域共生推進課)
5月26日(木)～ 6月8日(水)	郵送	令和4年度の活動に向けた登録情報の確認
7月1日(金)	八尾 商工会議所	総会 1. 令和3年度事業・決算報告及び監査報告 2. 令和4年度事業計画及び予算(案) 3. 役員紹介
		研修会 「中間就労とは～社会福祉法人が取り組む意義と八尾市の実践事例について～」 講師:大阪府社会福祉協議会 山本智光 氏、山下幸宏 氏 キリンこども園 松岡久美子 氏
7月11日(月)	中止	第2回役員会
8月23日(火)	オンライン	臨時福祉避難所の個別協定対象施設向け説明会 説明者:八尾市健康福祉部 高齢介護課 他
9月12日(月)	社会福祉会館	第3回役員会 1. 令和4年度総会・研修会の振り返り 2. 八尾市による災害時要配慮者オンライン説明会について 3. 今後の研修会の予定について 4. 新規加入施設について
9月29日(木)	オンライン	臨時福祉避難所に関する情報交換会
11月14日(月)	社会福祉会館	第4回役員会 1. 八尾市における重層的支援体制整備事業について (八尾市 地域共生推進課 つなげる支援室) 2. 11月29日 交流会について
11月15日(火)	藤井寺市立 市民総合会館	八尾市・柏原市・羽曳野市・藤井寺市 施設連絡会(地域貢献委員会)交流会・事例検討会
11月29日(火)	八尾 商工会議所/	全体交流会 ①制度紹介 「八尾市がめざす重層的支援体制整備事業について」 講師:八尾市健康福祉部 吉川尚子 氏

	オンライン併用 (交流会除く)	②事例紹介 「子育て中の生活困窮家庭への支援」 講師:ケアハウスやまなみ 溝口純子 氏 ③まとめ 講師:八尾市健康福祉部 岡本由美子 氏 ケアハウスやまなみ 溝口純子 氏 大阪府社会福祉協議会 下永田智子 氏 *終了後、交流会を実施
令和5年 1月10日(火)	社会福祉会館	第5回役員会 1. 11月29日 全体交流会について(報告) 2. 今後の研修会の開催と予算の執行状況について
3月13日(月)	水道局	全体研修会 ①講演 「重層的支援体制整備事業の中での社会福祉施設の役割・民生委員の役割」 講師:武庫川女子大学 教授 松端克文 氏 ②社会福祉施設 施設長等と八尾市民生委員児童委員協議会 幹事による交流
3月13日(月)	中止	第6回役員会

※社会福祉施設連絡会通信を年2回(第32号(令和5年2月)、第33号(令和5年3月))発行。

● 民生委員児童委員協議会の運営支援

*民生委員児童委員協議会の活動状況については、基本施策2-3に記載あり

【主な取り組みの活動指標】

活動指標	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)	R4年度 (目標)	R4年度 (実績)
地域の情報を共有する場 (プラットフォーム)の開催回数(回)	0	0	3	(*1) 0

*1:長池地区ではコロナ前に協議体を立ち上げたが、その後活動は中止となっています。
また、久宝寺地区では、ほこりバスターズの活動を通じて地域の情報を共有する場づくりに取り組んでいます。

■本会の基盤強化

『基盤強化に向けて』

地域福祉を推進する責務を果たすために組織を強化し、本会の各事業を改善しながら組織の基盤を強化し発展しつづける体制をつくります。

【主な取り組み】

1. 理事会・評議員会開催状況

(理事会)

開催日（決議日）	場所等	内 容
令和4年 6月3日（金）	社会福祉会館	第1回理事会 議案第1号 令和3年度事業報告及び会計決算の承認に関する件 議案第2号 評議員の選任補充に伴う候補者の推薦に関する件 議案第3号 組織会員入会承認に関する件 議案第4号 令和4年度第1回評議員会の開催に関する件 議案第5号 令和4年度第1回評議員選任・解任委員会の開催に関する件
10月14日（金）	社会福祉会館	第2回理事会 議案第6号 会長の選定に関する件
12月19日（月）	社会福祉会館	第3回理事会 議案第7号 理事候補者に関する件 議案第8号 評議員候補者の選任に関する件 議案第9号 本会規則・規程の改正に関する件 議案第10号 令和4年度第1号補正予算（案）に関する件 議案第11号 組織会員入会承認に関する件 議案第12号 令和4年度第2回評議員選任・解任委員会の開催に関する件 議案第13号 令和4年度第2回評議員会の開催に関する件
令和5年 3月2日（木）	社会福祉会館	第4回理事会 議案第14号 本会規程改正に関する件 議案第15号 令和5年度事業計画・予算書（案）に関する件 議案第16号 組織会員入会承認に関する件 議案第17号 役員等賠償責任保険契約の内容の決議に関する件 議案第18号 令和4年度第3回評議員会の開催に関する件

(評議員会)

開催日 (決議日)	場所等	内 容
令和4年 6月22日 (水)	社会福社会館	第1回評議員会 議案第1号 令和3年度事業報告及び会計決算の承認 に関する件
令和5年 1月19日 (木)	社会福社会館	第2回評議員会 議案第2号 理事選任の件 議案第3号 令和4年度第1号補正予算 (案) に関する件
3月15日 (水)	社会福社会館	第3回評議員会 議案第4号 令和5年度事業計画・予算書(案)に関する件

2. 委員会の開催状況

(1) 評議員選任・解任委員会

開催日 (決議日)	場所等	内 容
令和4年 6月3日 (金)	社会福社会館	(1) 議長選出について (2) 評議員の選任について
12月19日 (月)	社会福社会館	(1) 評議員の選任について

● 本会会員 (組織会員) の拡充

3. 会員数の増減表

	R元年度末	R2年度末	R3年度末	R4年度末
組織会員	203	207	210	212

● 職場環境の充実と計画的な人材育成の取り組み

職員の健康障がいの防止や健康の保持増進に関する取り組み (衛生委員会の設置運営)

4. 衛生委員会 開催状況

社協事務局	おひさまこども園
<p>・10月14日に第1回職員衛生委員会を立ち上げ、以後、毎月開催する。 *なお、開催は、書面開催と交互に行う。</p> <p>(検討内容) 安全衛生年間計画書を作成し、これに基づき、職場巡視やVDT、ストレスチェックの実施などを行った。</p>	<p>・5月13日に第1回おひさまこども園衛生委員会を立ち上げ、以後毎月開催する。 *なお、8月以降は書面開催と交互に実施する。</p> <p>(検討内容) 安全衛生年間計画書を作成し、これに基づき、職場巡視や健康診断、ストレスチェックの実施、熱中症対策やマスクの着用などの講習会の開催等を実施した。</p>

○ハラスメント研修会（一般職対象）

令和5年3月23日（木） ハラスメントについて（一般職向け）

講師 ハーネス 沼田 博子氏（本会顧問社労士）

●計画的な職員採用の検討、人材育成の取り組み

5. 新規採用職員の状況

社会福祉事務職員

令和4年5月11日（水）	人事問題審査会 新規採用職員 試験案内の作成
6月15日（水）～7月15日（金）	試験申し込み期間 受験申込者数40名、1次試験（書類、作文審査）実施
7月27日（水）	人事問題審査会 1次試験合格者 20名
8月7日（日）	2次試験（面接）実施
8月8日（月）	合格者8名（内2名は令和4年度内採用）

この他に、保育教諭B、臨時職員（事務局、こども園）の採用試験を実施しています。

6. 実習生の受入

八尾市社会福祉協議会では、大学等から社会福祉実習生の受入れを実施しています。

令和4年度 （1）受入実習生 2名

（2）期間 8月9日（火）～9月14日（水）

7. 職員育成方針 検討経過

日 時	検討内容
令和4年9月20日（月）	職員育成方針の基本構想検討 素案の提示
10月4日（火）	第1回 検討会 素案に基づく検討
11月7日（月）	第2回 検討会 修正案
12月7日（水）	第3回 検討会 修正案
令和5年1月27日（金）	第4回 検討会 修正案
2月8日（水）	第5回 検討会 修正案
2月20日（月）	最終案確定後会長報告
3月2日（木）・15日（水）	理事会・評議員会にて報告

●関係機関・団体等の運営支援や連絡調整機能の強化

本会組織活性化に向けた検討（情報通信技術を活用した業務及び労務管理の取り組み）

8. 勤怠システム導入 経過

日 時	内 容
令和3年度	システム導入に向けた検討
令和4年 5月19日（木）、26日（木）、 6月15日（水）	他事業所等の視察
10月14日（金）	システム事業者との契約 IT補助金（2度目の申請で承認となったため、開始時期が10月となる）の活用
11月4日（金）～3月末	システム導入 準備・設定（業者レクチャー）
12月27日（火）	システム運用説明（管理職）
令和5年 1月26日（木）、27日（金）	システム運用説明（職員向け）
2月1日（水）	試行開始